

# 様々な工夫を凝らしたオンライン実習

東京家政学院大学  
コロナ対応

## 「今後に繋げる」

東京家政学院大学(鷹野景子学長、現代生活学部、人間栄養学部)は、千代田区三番町(現代家政学科、人間栄養学科)と町田市(生活デザイン学科、食物学科、児童学科)にキャンパスを持つ。大都市東京の中心に位置するキャンパスではどのようなコロナ対応が行われたのか。実習が多い学部もある中で、対策を現代家政学科の山村明子教授、企画室の萩原大輔副参事に聞いた。

### ○オンライン実習のメリット

2020年2月、同大学では「イタリアで予定していた海外専門研修プログラム」について実施可能性について検討があり、中止を決定せざるを得なかつた。その後すぐに、学長を本部長とした「新型コロナウイルス感染症対策本部」が発足。3月中旬の会議で授業開始日(4月8日)を2週間後とする決まりを決めた。

同時に遠隔授業実施に向けた検討も始まつた。「情報処理センター長をして、4月7日に「遠隔授業等実施に向けた検討チーム」が発足しました。これが遠隔授業の諸条件の整備と実施方法についてマニュアルを作成しました。各学科で試行錯誤をして授業準備

を行い、通信量の不安や、学生の負担を考慮し、開始当初はリアルタイム配信は20分程度まで、と

いった条件も付けました。ICTが分からぬ職員が支援しながら教室で録画しました」と萩原副参事は述べる。前期についても、「5月の連休明けから授業が始まり、終了まで全て遠隔授業となつた。現代家政学科の各領域の状況を紹介しようと。現代家政学科の各領域では、夏季休暇中に登校してもらいたい集中的に対面での実習を行う機会を設けた。

まず、調理実習が多い「食生活」領域では、夏季休暇中に家庭の調理器も可能な実習を行つてもらいました。教員が作成したオンライン動画を見て、実際に調理し

らいます。手に入りにく

い食材や、家庭にない大型の器具などを扱うものを集中期間に行いました」と山村教授。後期は遠隔授業を中心のなか、実験実習は対面授業を集中して行う期間を設けた。その中で、家庭で行える実習と大学の器具等を利用する実習を行つた。

オンライン実習は成果が上がりづらそうにみえるという。「1つが、オンラインは個人作業といふことです。対面でグループになると、各メンバーの集中度にむらができることがあります。遠隔だと一人でどこまで写真に撮つて送つてもらいました。

この実習も、一人ひとりが自分のペースで取り組めたとのことです」。最後に、「ハウジング」領域である。これに建設住宅等設計図を見る実習がある。「夏期集中ではなく毎週少しづつでも実習をやらせてほ

ります。しかしオンラインだと、動画を見ながら自分のベースで取り組むことができます」。

つまり、オンラインだと学生一人ひとりが無理なく実習の成果を身につけるのである。

次に、やはり実習が多い「ファッショング」領域である。「最近の家庭にはミシンがあります。従つて、後期のオンライン実習では実際の寸法よりも小さくして、手縫いの実習をしてもらいました。これはもともと裁縫の練習で伝統的に行ってきました。これはもちろん継続的に行つてきました」。

同大学では担任制を敷いているが、各学期で必ず1回は個人面談を行うほか、保護者とも面談する。オンラインによつて、下宿する学生の保護者との面談は確実に行ひやすくなつたといふ。

また、保健管理センターや学習支援センターでオンラインで相談を受けるようになつた。「後期に入つてトーキルームを開設したら、数名の学生が入つてきてお喋りをしました。対面よりも会話が弾んでいるようになります。もう1つが、時間を感じしなくて済むことがあります。対面実習は時間に追われる感覚になり、とりあえず「終わ

ります。しかし、この後期には敷地が広い町田において、11月末から全面対面授業を再開している。

山村教授は、次のように振り返る。「当初はオンラインとなつた。初めてのことばかりでしたが、学内で協力して、教えあいながら遠隔授業に取り組みました。

OMを使ってオンラインで指導しました。学生によってはなかなか進められず、期限ぎりぎりに取り組んだ学生もいたようですが、対面だと机間組むことができます」。

つまり、オンラインだと学生一人ひとりが無理なく実習の成果を身につけるのであります。

次に、やはり実習が多い「ファッショング」領域である。「最近の家庭にはミシンがあります。従つて、後期のオンライン実習では実際の寸法よりも小さくして、手縫いの実習をしてもらいました。これはもちろん継続的に行つてきました」と萩原副参事は振り返る。

同大学では担任制を敷いているが、各学期で必ず1回は個人面談を行うほか、保護者とも面談する。オンラインによつて、下宿する学生の保護者との面談は確実に行ひやすくなつたといふ。

また、保健管理センターや学習支援センターでオンラインで相談を受けるようになつた。「後期に入つてトーキルームを開設したら、数名の学生が入つてきてお喋りをしました。対面よりも会話が弾んでいるようになります。もう1つが、時間を感じしなくて済むことがあります。対面実習は時間に追われる感覚になり、とりあえず「終わ

ります。しかし、この後期には敷地が広い町田において、11月末から全面対面授業を再開している。

山村教授は、次のように振り返る。「当初は



山村教授(左)と萩原副参事

千代田キャンパスの千代田キャンパスの

みが立ち上がり、ここ

が主導して進めた。主な

対策は教室の定員を3分

の2~半数に制限すること

と、学籍番号などでクラ

スを半数に分けて、Aグ

ループは登校、Bグル

ープは自宅からオンライン

にして、ハイブリッド型

で授業を行つた。国家資

格試験の勉強がある学生

については、後期からは

「ゼミについては、Z

OOMで個別に対応しま

した。一人ひとりと学習

はやその状態に満足して

くれないのでないか。

「失敗しながらもやつて

これたので、今後は学生

サービスの向上に繋げ、

大学が変わるべきに

したい」と述べるよ

う。

それから、オンライン実習の経験を踏まえて次のように総括する。「自律的な学習ができる学生には向い

ませんね」。

そして、山村教授はこ

れらオンライン実習の経験を踏まえて次のように

総括する。「自律的な学

習ができる学生には向い

ませんね」。

アドバイスを行えます

アドバイス